

発行所
伊那市荒井
3500-1-401
上伊那教育会館内
長野県教職員組合
上伊那支部
編集発行人
中島 弘樹

県教組上伊那支部情報誌 知ってみ～な

令和7年
10月 日
第6号
職場揭示

平和を願う活動

7月4・5日
上伊那網の目平和行進



平和行進とは、いったい何のためにあるのだろう。幟を持ち、長い距離を歩く活動の意味は、「平和を願っている人たちがいる」ということを通り過ぎる人たちに知ってもらうことなのだろうと思いました。場を設けてもらって伝えることは難しいけれど、活動する姿を見てもらうだけでもいい。「活動している」ということそのものに意味があるイベントです。

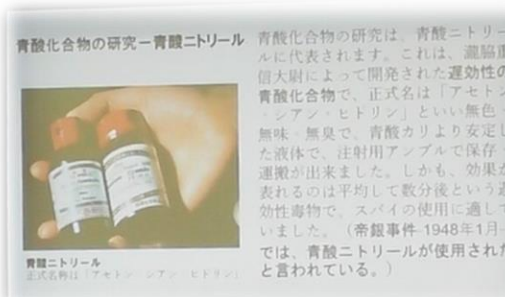


8月6日
反核・反戦・平和の集い
In 中沢小学校

講師に登戸研究所調査研究会事務局長の松久芳樹先生をお迎えし、80年前に伊那谷で実際にあったこととお話いただきました。参加者の中には、研究所で使われていた薬品が、蔵で保管されていたという地元の方もいらっしゃいました。

日本は決してただの被害者ではなく、80年前の戦争から学び続けなくては、同じ過ちを繰り返してしまう危険性は大きいにある、ということを知りました。

伊那谷で教員として働く皆さん、ぜひ「登戸研究所平和資料館」へ足を運んでみてください。



いなっセミナーII (教員採用試験対策講座)



日々の校務に向かいながらも、採用試験に向けて熱意をもって取り組む講師の先生方を応援するこのイベント。組合として最も力を入れている大切な活動です。参加された皆さんのお力に少しでもなれていばうれしく思います。



支部バレーボール大会



8月23日、勝負リーグも交流リーグも白熱の戦いが繰り広げられた支部バレーボール大会！！職場の同僚と、一つのことに向かって汗を流すことの良さを感じました。普段の仕事もこんなふうに行けるといいなあ。

多くの先生方にご参加いただき、ありがとうございました。また、企画運営を担当してくれた青年部の皆さんのおかげで、楽しい時間を過ごすことができました！心から感謝します。



ここに掲載したこと以外にも、上伊那教育七団体の活動として福祉施設訪問にも行って参りました。そこでは、様々な状況のもとで生活する人たちを様々な方法で支援する施設が多くの方々の暮らしを支えていましたが、一方で運営は厳しい状況にあることも学びました。また、広島平和記念式典に参加した法制部長は、現地に行くことでしか感じることでできない空気感や思いに触れ、心を大きく揺さぶられて上伊那へ戻ってきました。

組合活動に直接携わらせていただいたことで、今年度も貴重な活動の機会を得ることができた令和7年度の「夏」となりました。